

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみ処理施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	02	02	01	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	ごみ焼却施設	意図	ごみ処理施設の適正な処理及び維持管理に努め、安全かつ安定的な稼働を確保する。
事業内容	ごみ処理施設を安全かつ安定的に稼働するため、測定機器類等の定期的な保守点検や排ガス等の測定分析等を実施する。当該施設の適正な維持管理の実施により、住みよい環境の保全に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	当該ごみ処理施設については、関係法令に基づく適正な施設運営が求められている。このため、施設の適正な維持管理に努め、排ガス等法規制基準を遵守し、環境保全を図っていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ごみ焼却量	39865.90	38726.73	41235.15	t	→→
②	薬品購入費	115,366,008	117,079,341	124,396,362	円	↓↓↓	
③	電気使用料	107,532,967	100,002,317	113,517,035	円	↓↓↓	
④	発電量	14,033,466	13,071,717	11,692,692	kwh	↑↑↑	
⑤	灯油購入量	751	658	663	kℓ	↓↓↓	
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						廃棄物処理法等、各種法令のコンプライアンスに必要な整備や分析等の委託をはじめ、環境保全を図るため、必要な薬品を使用し適正なごみ処理と施設の維持管理に努めた。また、運転管理業務委託は、平成28年度まで単独で業務委託していた機器保全業務委託と灰処理に関する業務委託を平成29年度から運転管理業務委託に含めた業務委託とすることで、経費の削減を図った。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	ライアンスに必要な整備や分析等の委託をはじめ、環境保全を図るため、必要な薬品を使用し適正なごみ処理と施設の維持管理に努めた。また、運転管理業務委託は、平成28年度まで単独で業務委託していた機器保全業務委託と灰処理に関する業務委託を平成29年度から運転管理業務委託に含めた業務委託とすることで、経費の削減を図った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	512,355,543	507,225,337	541,804,077				
事業費(b)(円)	504,072,543	499,673,837	534,420,877				
うち一般財源	504,072,543	499,673,837	534,420,877				
職員給与費(c)(円)	8,283,000	7,551,500	7,383,200				
人役・職員(人)	1.10	1.10	1.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ごみ焼却施設運転管理業務の技術審査を実施し、委託業務の履行状況を確認し、安全・安定的な施設運営を図る業務仕様書の検討を行う。	③取組の課題	業務委託の現状を把握し、業務委託仕様書及び総合評価一般競争入札実施要領書の見直しを図る。
②今年度(H29)に実施した取組	運転管理業務委託の履行状況は、履行計画に基づく、報告書の確認精査及び技術審査を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	次期平成34年度の入札に向けて、ごみ焼却施設の運転管理に係る全般の見直し等の検討を行う。